



プレスリリース:平成30年8月27日

文化庁メディア芸術祭須賀川展「創造のライン, 生のライン」

文化庁メディア芸術祭須賀川展「創造のライン, 生のライン」 開催決定の御案内

～アート, エンターテインメント, アニメーション, マンガ。
時代(いま)を映すライン(線)に沿って体験するメディア芸術の世界～



この度、須賀川市において、福島県では初めてとなる文化庁メディア芸術祭地方展の開催が決定したことをお知らせします。

文化庁メディア芸術祭須賀川展は「創造のライン, 生のライン」をテーマに、国内外の文化庁メディア芸術祭受賞作品等を中心に幅広く紹介します。

近年のメディアテクノロジーの進展はメディア芸術の世界にも様々な形で現れています。例えばIoT化によってすべてのモノが平等につながる社会像や、AIの進化によって揺らぐ人間と非人間の境界等、時代(いま)を映すラインを読み取ることができます。本展では、こうしたラインを補助線にして、メディア芸術のいまと未来を体験していただきます。

文化庁メディア芸術祭須賀川展は、平成31年(2019年)1月11日に開館する市民文化復興のシンボル「須賀川市民交流センター tette」の開館記念イベントとして、文化庁と須賀川市との共催で開催されます。須賀川市は特撮の神様・円谷英二生誕の地であり、地域の文

化資源である「特撮」とメディア芸術との連携他、須賀川でしかできないユニークな展示やイベントの数々を計画しています。

また本展においては準備計画段階から、須賀川市民の皆さまにも参加いただけるワークショップなどを織り交ぜながら、世代を越えて多くの方々が＜創造＞に参加できるメディア芸術祭を目指します。どうぞ御期待ください。

展覧会やワークショップの内容は公式 Web サイトや各 SNS 上で順次お知らせしてまいります。

<文化庁メディア芸術祭とは>

文化庁メディア芸術祭はアート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの 4 部門において優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバルです。平成 9 年度(1997 年)の開催以来、高い芸術性と創造性をもつ優れたメディア芸術作品を顕彰するとともに、受賞作品の展示・上映や、シンポジウム等の関連イベントを実施する受賞作品展を開催しています。

〔名 称〕…文化庁メディア芸術祭須賀川展「創造のライン、生のライン」

〔会 期〕…平成 31 年 2 月 27 日(水)～3 月 17 日(日)

〔主 催〕…文化庁

〔共 催〕…須賀川市

〔会 場〕…須賀川市民交流センター「tette」 他

〒962-0845 福島県須賀川市中町 4-1

〔観覧料〕…無料

〔事務局〕…文化庁メディア芸術祭須賀川展運営事務局（株式会社テレビマンユニオン内）

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山 SOUTH 棟

TEL:03-6418-8400(土日祝を除く 10～18 時)